

講義名	教養特講 II (読書力)		
科目区分	教養特講		
担当教員	藤原 喜美子		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

この講義の目的は、読書を通して本に慣れ親しみ、その本の要点を読み解く力を養うことにある。書籍からは様々な情報が私達に発信され、その一冊の本には著者の色々な思いが込められている。そこで、教科書や課題図書を選材にして、そこに記された内容の中から時間ごとにテーマを選び、選んだテーマの内容を話し合いながら講義を進める。講義では、教科書や課題図書を皆で読み、「読む力」を養う練習を行う。また、そこから読み取れた事柄や自分の感想を文章にまとめ、「書く力」を養う。さらに、講義中は、受講生が会話をしながら、ディスカッションを行うことがある。お互いに意見を交換しあうことで、「聞く力」を養う。このようにしながら、「文章を読む」ということに対して読解力や向学心を育てていきたい。

到達目標

教科書や課題図書を読みながら本に慣れ親しみ、本の中で興味のあるテーマについて自分の感想や考えを述べるができるようになる。

提出課題

1. 講義では、毎時間、小レポートおよび感想文の課題を提出してもらう。
2. 学期末には、レポート試験を実施する。課題の詳細は、別途指示する。

課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバック

毎回の授業の最後に書いてもらう感想文の内容は、提出後に次の回の授業などで、読書に関する考え方として紹介する。

評価の基準

毎回の講義における小レポートまたは感想文 (60点)、学期末のレポート試験 (40点) を総合して評価する。講義中のディスカッションへの参加はプラスポイントとするので、積極的な参加を期待する。

履修にあたっての注意・助言他

1. 【重要】1回目の講義から、教科書を使用する。
そのため、1回目の講義までに教科書を各自で購入し、教科書は必ず持参すること。
教科書は、教科書購入期間に、必ず購入しておくこと。
2. 教科書の他に、課題図書 (大学の図書館が所蔵、新書版または文庫本) を使用する。
課題図書の貸出・返却の手続きは、各自が図書館で行うこと。
各時間に使用する課題図書 (書名) は、1回目の講義で指示する。
3. 事前に課題図書を読んで、予習を必ずしておくこと。
4. 本に慣れ親しみ、積極的に読書する習慣を鍛えてもらいたい。

教科書	『読み上手 書き上手』 (ちくまプリマー新書076) .	齋藤孝	筑摩書房	800円+税	ISBN978-4-480-68778-4
-----	------------------------------	-----	------	--------	-----------------------

プリント資料及び参考文献

プリント資料は、必要に応じて配布する。
参考文献は、講義中に適宜紹介する。

授業計画

1. 「読書力」とは読書に慣れ親しむということ
2. 読書を考える①
3. 読書を考える②
4. 読書を考える③
5. 読書を考える④
6. 読書に親しむ①
7. 読書に親しむ②
8. 読書に親しむ③
9. 読書に親しむ④
10. 読書に親しむ⑤
11. 内容を理解する①
12. 内容を理解する②
13. 内容を理解する③
14. 内容を理解する④
15. まとの読書を習慣化することの意味

授業形態 (アクティブ・ラーニング)

- ア: PBL (課題解決型学習)
- イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
- ウ: ディスカッション、ディベート
- エ: グループワーク
- オ: プレゼンテーション
- カ: 実習、フィールドワーク

準備学習 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習…次の授業範囲の準備学習として、シラバスの授業計画に記してある授業のテーマを確認し、各自、教科書と課題図書を読んでおく。各回の講義の最後でも、翌週の講義の内容を紹介する。また、そのテーマについて、翌週までに興味のある事柄を1つ調べる (約1時間)。
復習…講義終了時、その日の講義内容を確認しながら、内容に関わる小レポートや感想文を記入する。また、各自で、その日の講義の要点等を確認する (約1時間)。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この講義では、各回の前半は教科書・課題図書を用いた講義の形式で進める。また、各回の後半は、その日の講義のテーマや翌週のテーマについて、受講生による話し合いの機会を設けることがある。

実務経験の有無及び活用

課題図書の中には、日本の歴史や文化に関わる書籍が含まれている。特にそのようなテーマでは、民俗学 (生活文化史) に関わる現地調査や文化財保護業務などの実務経験を活用し、日本の地域の特色などを紹介し、授業を行う。

備考

一冊の本には、著者の色々な思いが詰まっている。教科書や課題図書を読む時は、まず各自が興味のある事柄を探してもらいたい。また、教科書には、本を読む時のコツが多く記されているので、自分が実践しやすいものを探してもらいたい。